

教室の授業「後期のグループ作り」

新しいグループを作り、ゲームをするための話し合いを行います。しっかり話しておかないと、ただゲームをやるに過ぎなくなり、学習にはなりません。次回がグループでの練習計画を立て、自分たちで練習します。ゲームに生かすための練習なので、時間を有効に使ってほしいです。そのためにも、細部に渡っての話し合いを進めてください。

<今日の授業の流れ>

<p>(1)グループ作り (前期リーダー) ○前期のグループリーダーが集まり、4 チームを作ります。 ・今のグループメンバーを分散させる。 ・前期のリーグ戦の結果を参考にする。</p>	<p>(1)ゲーム分析 (リーダー以外の人) ・前期の初めに行った心電図の復習 ・映像を観ながら心電図を書く。 ⇒ゲーム分析 ・触球数・シュート数・シュート成功率 ・パスの繋がり・攻撃数</p>
<p>(2)新しいグループ ・グループ発表 ・リーダーの選出 ・役割分担 (リーダー、副リーダー)、(心電図・アナウンス)、線審、審判 ・ノートの記録順を決める。(前期は同じ人が書いている場合が多かった。) ○ここからは、リーダー、副リーダーが中心となり話し合いを進める。 ・どんなチームにするのか? 具体的は目標を決める。 例: 攻撃率 50%以上、全員シュート、シュート成功率 50%以上、速攻を得意とするチーム等 ※とりあえずは、目標を決める。具体的な数値を挙げる。目標を立てた上で、試しのゲームに臨む。</p>	
<p>(3)VTR の視聴 ・4 人の攻めの方法についてフットサルの映像を参考にする。 ⇒自分たちのチームはどのフォーメーションを活用するのか? どのような攻め方をするのか? そのためにどのような練習をしたら良いのか?</p>	
<p>(4)再び、グループノート ・自分たちの攻めのスタイルを決める。 ①どんなフォーメーションで攻めるのか? (自分たちの型) ②4 人の動きについて共通理解をする。 ③そのための練習方法を考える。</p>	
<p>(5)次回の練習計画 ・ウォーミングアップ~4 人の攻めまでを考える ・ゲームに生きる練習にすること。具体的な数字を掲げて練習する。</p>	<p>(5)リーダー審判会議 ・ゲームを始めるに当たってのルール確認。</p>

心電図 前期の初めに行ったゲーム分析の方法。2人が一組になって、一人が実況中継し、もう一人が記録用紙に記入します。個人の触球数とパスプレイへの参加状況、チームのパスのつながりや得点の様子を把握できます。チーム間の比較や、同一チームの経過なども比較することができます。

サッカーの心電図

ゲーム日 / 月22日(火) / 班対 3 班 ①後 記入者 八木 アナウンサー 糸田

No	名前	ポジション	触球	○	◎	アシスト
2	藤井	MF	6	0	0	1
1	門田	DF	3	0	0	3
7	福井	FW	13	3	1	0
3	宮本	MF	6	1	0	1
5	酒田	MF	2	1	1	0
6	濱	GK	1	0	0	0
4	草木	FW	9	2	1	1

※攻撃数…2回以上のパスがつながった時を1回と数える。

攻撃成功率…パスからシュートまで繋がった回数(得点に繋がらなくてもカウント)

※ボール支配率…触球数で相手チームと比べる